



志岐高便り

第166号

発行責任者
平山 啓一



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校

長崎県志岐市郷ノ浦町片原触88

[TEL]0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



「笑顔」

校長 平山啓一



令和になっても暑い夏、体温を超える気温のニュースにも驚かなくなりました。気温30度越えの予報に、外出を用心していた夏はいつ頃までだったでしょうか。犬ぞりが、氷の上ではなく水面を掻き分けて走る映像が地球温暖化の深刻さを訴えます。もしかしたら、気の遠くなる時間をかけて幾度となく繰り返されてきた地球の営みが、ヒトの時代という短い時間で起きているのかもしれない。私たち人間は、生かされている存在として自分たちの営みの分を知る謙虚さを忘れてはならないのですが……。

さて、夏休みとはいえ学習に部活動にと、志岐高生は今年も忙しい夏を過ごしました。大分県日田市での学習合宿に参加した3年生。上海語学研修や歴史巡検など、特色ある取組に参加した東アジアコース生。羨ましいほどの恵まれた環境は、決して当たり前ではありません。感謝の思いを忘れることなく、それらの貴重な時間と経験を、進路実現延いては自分の将来に必ずつなげてほしいと思います。

1学期の終了式で「意識することで見る世界は変わる」という話をしました。この夏を契機に、見る世界を豊かにしながら人として成長することを期待してやみません。

ところで、この夏最もブレイクした人と言え、女子ゴルファーの渋野日向子プロでしょうか。海外メジャー大会を42年ぶりに、日本人2人目として制覇した20歳。その笑顔から「スマイル・シンデレラ」と呼ばれました。そんな彼女、高校時代は喜怒哀楽が激しく、ミスしたらよく怒ってスコアを落としていたそうです。悩んだ挙句、辿り着いた答えが「笑顔」。以来、どんな状況であっても意識的に「笑顔」をつくる。その決意と実行が今回の快挙につながります。当然、自ら課した練習ノルマは決して怠らない努力家であったことを忘れてなりません。

一方、この夏の甲子園。令和となっても連日の熱戦が多くの感動と勇気を与えてくれました。ところで、甲子園でもいつの頃からか笑顔をよく見かけるようになりました。闘志、必死、……、悲壮感、そして涙。かつての甲子園には笑顔が憚られる雰囲気がありました。特に、ピンチや失策での悲壮感は、画面からでも痛いほど伝わりました。しかし、現在ではピンチになるほど笑顔。甲子園の笑顔はまだ増えいきそうです。

「笑いは副作用のない薬」と、ヨーロッパの諺にあります。確かに最近の研究でも、苦痛や不安を和らげる上で笑いが重要な役割を果たすことが証明されています。たとえ「つくり笑顔」であったとしても、リラックス効果は高く、集中力も高める効果があるとのこと。スポーツに限らず、普段の生活においても「笑顔」は大切。笑顔が良い人間関係、そして良い人生を作ることは間違いありません。人間に与えられた「笑顔」という能力。その素晴らしい力をもっともっと磨いていきましょう。

各学年団から

第 3 学 年 よ り

夏休み期間中は、1～4組は大分県日田市での学習合宿、公務員志望者は福岡で公務員夏季講習、中国語専攻者は上海研修、歴史学専攻者は歴史の研究発表大会に参加するなど、それぞれのコースに応じて進路実現のために、有意義な時間を過ごしました。生徒一人ひとりは一言で表せないくらい充実した夏を過ごしたのではないのでしょうか。これも、保護者の皆様のサポートがあってのことだと思います。本当にご協力ありがとうございました。

さて、9月からはよいよ公務員試験、就職試験、各大学・専門学校のAO入試がスタートします。模擬試験ではなく、将来を左右する最も重要な試験です。体調管理をしっかりと行い、身なりを整え、必ず合格するという強い気持ちを持って挑んでほしいと思います。

最後に、9月7日（土）には高校生活最後の体育祭があります。72回生が一丸となって最高の思い出を作り上げてくれることと期待しています。



第 2 学 年 よ り

この夏は、各学校のオープンキャンパス、看護体験や介護体験、学童保育ボランティア、壱岐や日本の将来を大学生や企業の方とともに考える壱岐「サマープログラム」、「長崎大学新入試トライアル」などの各種活動に73回生の多くの生徒が積極的に参加しました。また東アジア歴史・中国語コースの生徒たちは、上海中国語研修、奈良・大阪への歴史巡検に参加しました。どれも自分自身の将来を考える上で重要な体験となったのではないのでしょうか。

さて、2学期からは対外模試が5教科で実施され、バランスよく学習することが重要になってきます。また体育祭や文化祭、110周年記念式典などの行事があり、2年生はさまざまな場面で中心的な役割を担います。君たちが成長できるチャンスが2学期はたくさんあります。自分自身の将来につながるよう、全力で取り組みましょう！

第 1 学 年 よ り

「自学に取り組む姿勢」「受け身の学習から自発的な学習への変化」「質問して疑問を解決することの大切さ」「見えるライバルと見えないライバルの存在」「サポートしてくれる人への感謝」

これらは夏季休業期間に入る直前に3日に渡って行われたスタディキャンプ（校内の学習会）の感想文の抜粋です。夏季休業期間にはどの程度意識できていたでしょうか？約1ヶ月前のこれらの気づきを一過性のものにするのではなく、具体的な行動として継続することが大切です。

さて、早いもので2学期が始まりました。1学期に上手く行えたことは継続し、改善すべきことは修正して良いスタートを切りましょう。2学期は体育祭や文化祭と大きな行事が続きます。一人一人が自分から関わって行事を盛り上げましょう！

彦岐高Topics!

9月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

「平和学習」

8月9日（金）彦岐の島ホールにおいて平和学習が行われました。講師として田平由布子さんに講話をしていただきました。田平さんは、2年前になくなった被爆者である吉田勲さんのお話を後世に語り継いでいく活動をされており、全国各地で講演をなさっています。

被爆者が高齢化し、原爆を恐ろしさを知っている人が少なくなっている現在、被爆者の思いを語ることは、これからの平和のために必要なことだと、私たちに教えていただきました。



「コース宿泊体験・体験入学」

8月23日（金）～24日（土）にかけて、東アジア歴史・中国語コースの宿泊体験と体験入学が催されました。今回は18名の参加者に来ていただき、遠方からもご参加いただきました。

至らない点もあったかと思いますが、今後ともよろしく願いいたします。来年の4月に再びお会いできる日をお待ちしております。



1	日	長崎県立大学との交流授業：コース2年生 公務員国家一般③ 就職出願開始③
2	月	体育祭特別時間割
3	火	体育祭特別時間割
4	水	体育祭予行
5	木	【代休9/7】
6	金	体育祭設営
7	土	体育祭
8	日	
9	月	体育祭予備日 文化祭準備①②（6・7校時）
10	火	
11	水	文化祭準備①②（6・7校時）
12	木	7校時 LHR：進路学習③、文化祭準備①②
13	金	文化祭準備①②（6・7校時）
14	土	進研マーク模試③
15	日	進研マーク模試③
16	月	【敬老の日】 就職試験開始③
17	火	【代休9/21】 学校開放（終日）
18	水	文化祭準備①②（6・7校時）
19	木	文化祭準備①②（3校時～） 情報教育
20	金	文化祭準備①②（午前） 授業③（午前） 文化祭（午後）
21	土	文化祭 考査時間割発表
22	日	
23	月	【秋分の日】
24	火	
25	水	
26	木	6校時：LHR（後期自治委員選出） 7校時：栄養講話
27	金	
28	土	学校開放（半日） 彦岐地区PTA研修会
29	日	
30	月	考査特別時間割 受験用写真撮影③（冬服） [1日目]

生徒支援部より

三者面談で最もご意見が多かったのはLINEに関することだったようです。「21時を過ぎてもグループLINEが入ってきて勉強に集中できない」という生徒の皆さんの声もありましたし「そんなにしょっちゅう何の連絡がきているのか心配だ」という保護者の方の声もありました。ネット上ではLINE上の名誉毀損や「グループ外し」などのいじめに関する記事で溢れかえっています。壱岐高校でも7月の「高校生さわやか運動」の一環とし「SNSノートながさき」を使用してLINEでの「相手の受け取り方の違い」について学習をしたところです。

中には「部活動や体育祭などの連絡がLINEで入ってくる。本当はアプリを削除して勉強に集中したいけれど、仲間はずれになりそうできない。」という声もあつたようです。LINEは一人ではできません。相手あって行われることです。あなたが送ろうとしたまさにその時が、相手にとっては大事な時間かもしれません。何気なく送ったその一言が、思いがけず相手を傷つけているかもしれません。軽い気持ちで乗せた写真が、大きな問題に発展するかもしれません。夏休みが明けた今だからこそ、もう一度LINEについて親子で考えてみて下さい。

進路指導部より

7月下旬より、1、2年生は3日間のスタディキャンプ、3年生は大分県日田市で6泊7日の学習合宿に臨みました。また、3年生の公務員、就職・専門学校志望者は学校での学習会と、それぞれが進学や就職という目的のために努力する夏になりました。

ところで、みなさんは進学や就職という目的を達成した後のことを考えたことはありますか。何のために学び、働くのでしょうか。特に就職を希望する3年生は、まさにその難題に直面し、答えを探してきました。そこで生徒達が気づいたことは、就職はより大きな目的を達成するための手段なのだということです。就職した後、壱岐や日本、世界の人たちのために何ができるのかを考え、自分達なりの答えを見つけようとしています。

進学を希望しているみなさんも、何を目的に自分が学びたいのか一度立ち止まって考えてみてはどうでしょうか。きっと、いま以上に前向きに学習に取り組めるはずで



～李先生コラム『上海のごみ分別(1)』～

上海では今年の7月1日にごみ分別が始まりました。これは中国で史上初のごみ分別です。上海は中国の経済的な中心として、2019年現在、2420万人が住んでいます。毎日の日常生活で多くのごみが出ています。

上海のごみ分別はゴミを「生(濡れた)ゴミ(食品など)」「乾燥ゴミ(紙など)」「リサイクルゴミ(缶や瓶など)」「有害ゴミ(電池、薬品、廃油など)」の4つに分類することになっています。捨てるのは朝夜の決まった時間のみ。違反には個人が最高200元(約3300円)の罰金、企業も最高5万元(約82万円)の罰金があります。収集・処理業者の違反にも厳しい罰則を設けました。しかしながら、分類が分かりにくくて、市民たちは頭を悩ませています。その分別によって、いろんなジョークがあるけど、また次回話しましょう!

